



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日
東

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	23,802	23.9	△109	—	△66	—	△500	—
2018年3月期第3四半期	19,213	△17.9	776	△58.2	780	△58.8	392	△87.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △479百万円(—%) 2018年3月期第3四半期 385百万円(△87.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△43.75	—
2018年3月期第3四半期	32.54	30.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	26,046	9,764	35.9
2018年3月期	16,694	12,117	72.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,353百万円 2018年3月期 12,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

2019年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

<p>新規 9社(社名)</p>	<p>CatalyST 1号投資事業 有限責任組合、 Sevenwoods Investment 1号投資事業有限責任 組合、 Reo Asset Management 1号投資事業有限責任 組合、 Blackswan Capital 1号 投資事業有限責任組合、 Upstart Ventures 1号 投資事業有限責任組合 (旧: UNICORN Capital 1号投資事業有限責任 組合)、 Sevenwoods Investment 2号投資事業有限責任 組合、 Reo Asset Management 2号投資事業有限責任 組合、 Sean Asset Management Fund I, LP、 Blackswan Capital 2号 投資事業有限責任組合</p>	<p>除外 1社(社名)</p>	<p>株式会社MimiTV</p>
------------------	--	------------------	-------------------

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	12,936,100株	2018年3月期	12,931,100株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,834,966株	2018年3月期	852,565株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	11,446,903株	2018年3月期3Q	12,064,485株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標と、「インターネットの時代を動かす凄い100人を創る」ことをミッションに掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営への移行を決定しております。これに伴い、SHOPLIST事業も会社分割し、クルーズ株式会社は事業を持たない投資会社の位置付けでグループ運営の最適化への環境を整えてまいります。また、これらの実現に向け、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を構築しております。

同時に、将来的に株主・投資家、顧客、社員、社会その他すべてのステークホルダーに大きな価値を還元するべく、当面は「連結のEBITDAゼロへ、営利・当期利益はマイナスにしてでも利益及び現金を総投資して、SHOPLISTの売上最大化、第二・第三の事業の柱早期立ち上げ、M&Aによる売上最大化」を今後の重点戦略として掲げました。

グループの主要事業であるEC事業の国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は2017年に16.5兆円に達しており（注1）、また今後更に拡大し、2021年度には25.6兆円に達する見込みといわれております（注2）。

また、その中でもSHOPLISTのおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、2017年に1.6兆円に到達し、直近4年間で約4,820億円拡大してまいりました。この成長規模とスピードは2012年より国内で開始されたフリマアプリ（CtoC）の推定市場規模が5年をかけて到達した4,835億円に匹敵するものであります（注1）。

当該成長市場においてSHOPLISTは、平均商品単価約1,800円という低価格で良質なファストファッション商材の取扱いに特化し、また会員属性もその9割以上が10-20代を中心とした女性という特異なポジショニングを確立し、2012年7月の立ち上げから6年目を迎えた前連結会計年度の売上高は214億円を超え、拡大を継続しております。

当事業においては、今後の更なる拡大を目指し、新規ユーザー獲得を狙った大規模プロモーションはもちろん、探しやすい購入前後のギャップをゼロにするべくサイトのユーザビリティ向上、配送日数改善などの物流インフラの強化を通じたりピー率向上に注力してまいります。

以上の結果として、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高23,802,241千円（前年同四半期比23.9%増）、営業損失109,734千円（前年同四半期は営業利益776,803千円）、経常損失66,831千円（前年同四半期は経常利益780,455千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失500,838千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益392,575千円）となりました。

（注1）2018年4月25日経済産業省「平成29年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」を基に記載しております。

（注2）株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

①SHOPLIST事業

売上高は19,815,459千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益は208,263千円（前年同四半期比75.8%減）となりました。

②インターネットコンテンツ事業

売上高は1,634,057千円（前年同四半期比23.9%減）、セグメント利益は307,292千円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

③その他事業

売上高は2,352,724千円（前年同四半期比244.6%増）、セグメント損失は625,290千円（前年同四半期はセグメント損失513,732千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加5,639,399千円があった一方で、のれんの減少139,151千円などにより、26,046,828千円（前連結会計年度末比9,352,526千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、買掛金の増加1,404,639千円及び社債の増加10,000,000千円などにより、16,282,343千円（前連結会計年度末比11,705,679千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、自己株式の取得2,153,915千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上500,838千円などにより、9,764,484千円（前連結会計年度末比2,353,153千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

SHOPLIST事業の取扱高成長に向けた積極的なプロモーション活動、第二・第三の事業の柱を創出するための新規事業への投資、M&Aなど、グループの売上最大化のために事業資金を投下するため、当面は連結のEBITDAゼロ、営利・当期利益はマイナスにしても利益及び現金を総投資して、結果的に中長期的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,159,712	15,799,111
売掛金	2,311,755	2,965,459
その他	1,175,929	3,206,732
流動資産合計	13,647,397	21,971,303
固定資産		
有形固定資産	471,329	768,117
無形固定資産		
ソフトウェア	105,186	39,557
のれん	1,119,071	979,919
その他	4,365	5,978
無形固定資産合計	1,228,622	1,025,456
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,435,861	2,177,221
貸倒引当金	△88,909	△88,909
投資その他の資産合計	1,346,952	2,088,312
固定資産合計	3,046,904	3,881,885
繰延資産		
社債発行費	—	193,638
繰延資産合計	—	193,638
資産合計	16,694,301	26,046,828
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345,233	3,749,873
短期借入金	660,000	731,597
未払金	1,076,819	1,059,353
未払法人税等	93,484	142,656
ポイント引当金	87,302	162,086
その他	196,325	300,572
流動負債合計	4,459,164	6,146,139
固定負債		
社債	—	10,000,000
長期借入金	117,500	136,204
固定負債合計	117,500	10,136,204
負債合計	4,576,664	16,282,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,248	454,553
資本剰余金	1,387,497	1,357,747
利益剰余金	10,700,243	10,181,970
自己株式	△507,483	△2,661,398
株主資本合計	12,033,506	9,332,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,386	16,492
為替換算調整勘定	3,173	4,027
その他の包括利益累計額合計	26,559	20,519
新株予約権	17,772	17,029
非支配株主持分	39,799	394,062
純資産合計	12,117,637	9,764,484
負債純資産合計	16,694,301	26,046,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	19,213,944	23,802,241
売上原価	14,005,800	18,198,039
売上総利益	5,208,144	5,604,202
販売費及び一般管理費	4,431,340	5,713,937
営業利益又は営業損失(△)	776,803	△109,734
営業外収益		
受取利息	818	362
持分法による投資利益	17,709	5,542
投資事業組合運用益	—	26,981
為替差益	3,341	24,818
その他	6,660	12,989
営業外収益合計	28,529	70,693
営業外費用		
自己株式取得費用	—	9,821
投資事業組合運用損	15,993	—
支払利息	—	7,658
社債発行費償却	—	6,677
支払和解金	5,163	108
その他	3,720	3,525
営業外費用合計	24,877	27,790
経常利益又は経常損失(△)	780,455	△66,831
特別利益		
受取和解金	30,000	—
新株予約権戻入益	420	420
その他	228	—
特別利益合計	30,648	420
特別損失		
関係会社株式売却損	—	29,731
減損損失	46,834	196,242
その他	7,120	1,558
特別損失合計	53,955	227,532
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	757,148	△293,944
法人税、住民税及び事業税	320,152	283,631
法人税等調整額	53,098	△107,010
法人税等合計	373,250	176,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	383,898	△470,565
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,677	30,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	392,575	△500,838

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	383,898	△470,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,408	△8,829
為替換算調整勘定	185	△509
その他の包括利益合計	1,594	△9,338
四半期包括利益	385,492	△479,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,170	△510,177
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,677	30,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式517,200株の取得を行っております。また、2018年6月18日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式465,100株の取得を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,153,662千円増加し、単元未満株式の買取りによる取得も含め、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,661,398千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。